



Omiya

2026年3月号



発展を続ける大宮駅



大正3年(1914年)の大宮駅待合所正面

写真提供:市アーカイブセンター

現在の大宮駅

明治18年(1885年)3月、大宮駅が開業し、高崎線と東北本線(宇都宮線)の分岐駅となりました。その後、大宮には鉄道の整備などを行う大宮工場も開設され、鉄道を起点とし、様々な産業・文化が栄えたことから、大宮駅は「鉄道のまち大宮」の発展に欠かせない存在と言えるでしょう。そして、現在の大宮駅は、東北・上越新幹線をはじめ、多方面の在来線などが集まっており、「東日本の玄関口」として発展を続けています。

